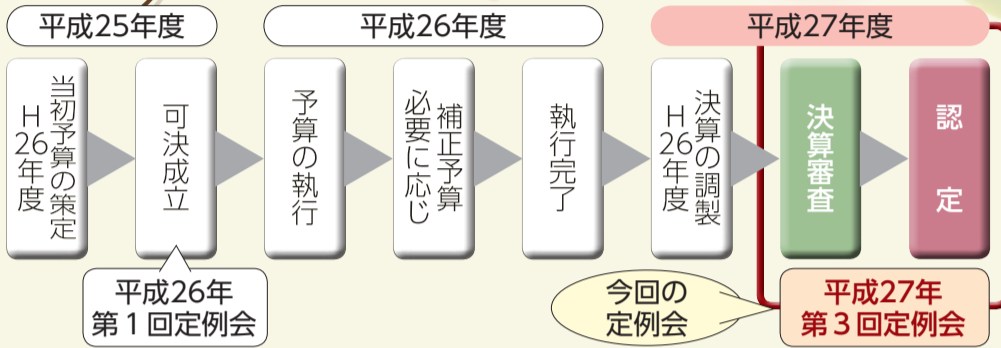


## 今回の定例会で平成26年度の決算を審査しました。

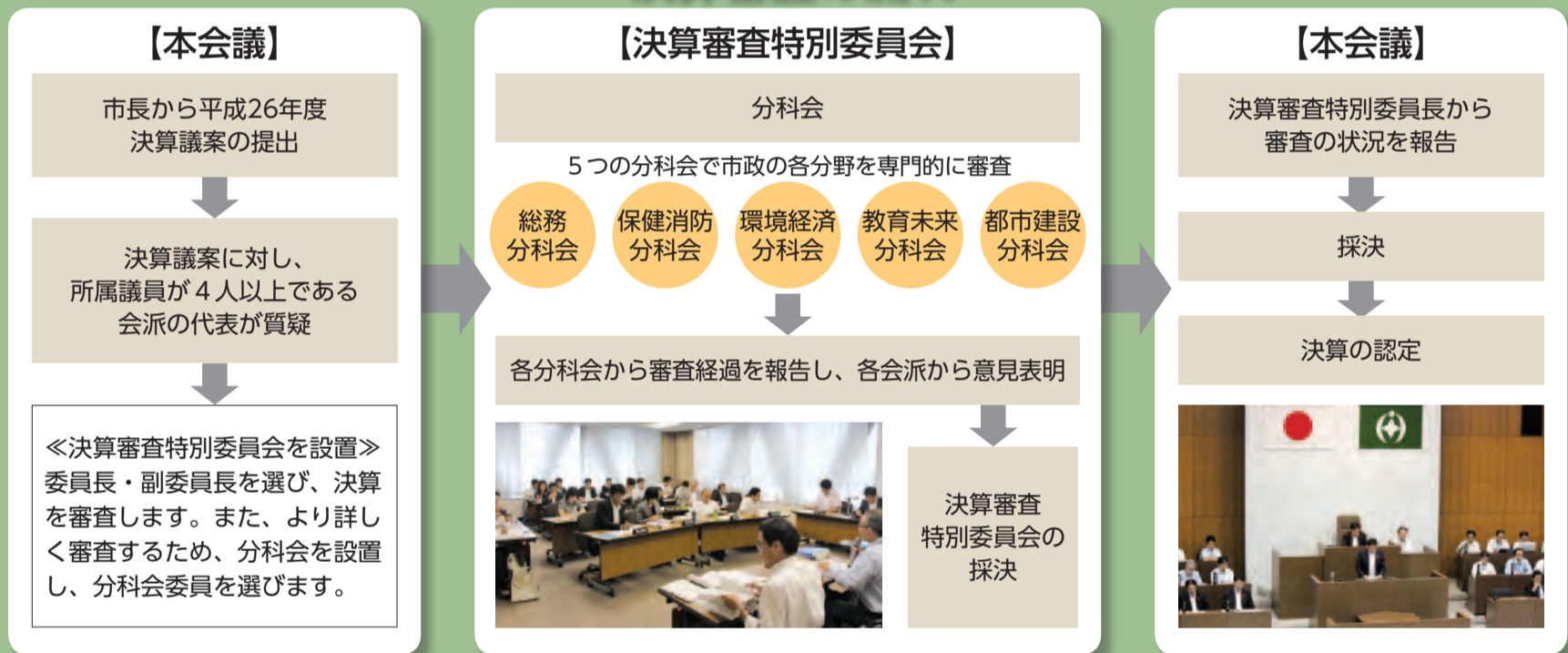
予算の決定から決算の認定まで



### 決算って何?

市は4月から翌年の3月までの1年間で、お金のやりくりをどのようにするか事前に計画を立てます。これを「予算」といいます。この「予算」は第1回定例会で決まります。計画した「予算」がどのように使われたかをまとめたものが「決算」で、その内容を議会でチェックします。議会で「予算」を定めること、議会で「決算」の認定をすることは法律で決められています(地方自治法第96条)。

### 決算審査の流れ



## 平成26年度歳入歳出決算を認定しました。

決算審査特別委員会の詳しい内容は、6・7面に掲載しています。

平成26年度一般会計および特別会計などの決算議案については、本会議で4会派の代表が質疑を行ったほか、決算審査特別委員会を設置し、詳細に審査を行いました。その結果、各会計決算を原案どおり認定しました。

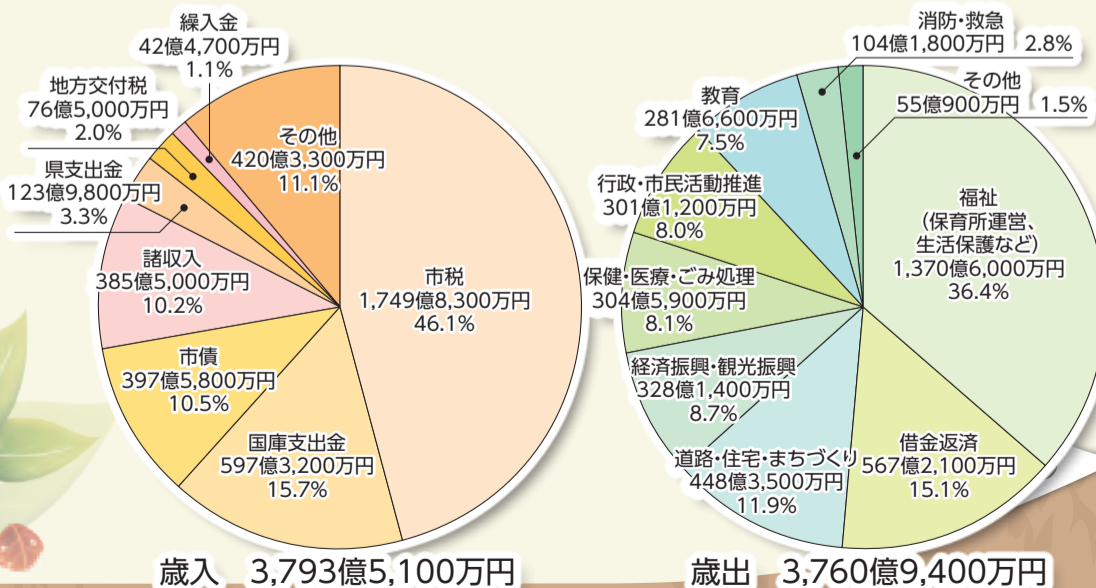
決算審査特別委員会では、市長への指摘要望事項をとりまとめて提出しました。また、各会派が決算に対する意見表明を行いました。

### 平成26年度一般会計決算の概要

経済が回復基調にあることを反映し、歳入において、株式等譲渡所得割交付金や、配当割交付金などが、予算に比べ増収となったこと、また、歳出においても、効率的な予算執行により、29億7,200万円の実質収支を確保しました。

平成27年第3回定例会が、9月4日から10月1日までの28日間で開かれました。この定例会では、補正予算、条例の一部改正、決算議案などを審議しました。

| 主な会議日程                 |                    |
|------------------------|--------------------|
| 9/4 [金]                | 本会議(開会)            |
| 9/9 [水]                | 本会議(議案質疑)          |
| 9/10 [木]               | 常任委員会              |
| 9/14 [月]・15 [火]        | 本会議(代表質疑)          |
| 9/15 [火]               | 本会議(委員長報告・討論・採決)   |
| 9/15 [火]               | 決算審査特別委員会          |
| 9/16 [水]~18 [金]・25 [金] | 決算審査特別委員会(分科会)     |
| 9/24 [木]~30 [水]        | 本会議(一般質問)          |
| 9/30 [水]               | 決算審査特別委員会          |
| 10/1 [木]               | 本会議(決算委員長報告・討論・採決) |



# 市長に問う

— 代表質疑から —

2日間にわたり、4人以上で構成される4会派の代表が平成26年度決算議案などについて質疑を行いました。

9月14日：自由民主党千葉市議会議員団、未来民主ちば、  
公明党千葉市議会議員団  
9月15日：日本共産党千葉市議会議員団



詳しくは市議会ホームページの「議会中継（録画放映）」をご覧ください。

## 自由民主党千葉市議会議員団



### 空き家に関する市の対策は

**問** 空き家に対する特別措置法が制定されたところだが、この法律に対応した今後の条例整備の考え方と、管理不十分で倒壊の危険がある「特定空家」の判断基準をどのように決めるのか伺う。

**答** 現行の条例は、特別措置法と重複する部分が多く、法律との整合性を図る必要がある。現在最優先で取り組むべき「特定空家」に対応するための実施体制や方針を協議しており、条例の取り扱いを平成27年度末をめどに整理していく。

「特定空家」の判別の基準は各市町村で設



けることとされており、他の政令市の状況や県が立ち上げた空き家等対策検討部会での取り組みなども参考にしながら、市の「特定空家」の具体的な判断基準を策定していく。

### プレミアム商品券の「デビットカードタイプ」導入は

**問** プレミアム商品券は、申し込みも多く盛況だったが、無抽選となり余剰も発生した「デビットカードタイプ」の導入理由と他市での導入状況は。

**答** 国が施策の一環として地方でのプレミアム商品券発行支援を決定した当初、デビットカードなどを含む電子媒体を活用することが示され、運用コストの削減や消費データ分析のしやすさ、市内のカード決済インフラ整備が期待できることが挙げられていた。市でも、商品券の販売所に足を運ぶことが困難な方の利用機会の確保や、取扱店舗の拡大が見込めるなどのメリットがあると判断し、市内に本店のある4金融機関に活用の提案を依頼したところ、千葉銀行からデビットカードを利用した手法の提案があり、その効果を検証し今後の経済施策に

活かすため、導入した。現時点で本市以外に導入している自治体はない。

### 学校でのいじめの未然防止を

**問** 近年、いじめに関する痛ましい事件が多発している。いじめ自体をなくすることは難しいことだが、未然に解消または軽度で終わらせることが喫緊の課題であると考えますが、市立小・中学校でのいじめ認知件数は。また、いじめを認知した教員・学校の評価を伺う。

**答** 平成25年度の市立小・中学校のいじめの認知件数は、小学校では592件、中学校では515件であった。

主な態様は小・中学校ともに「冷やかしい」「からかい」「悪口」「脅し文句」「嫌なことを言われる」などが報告されている。

いじめはどの子どもにも起こりうるという認識のもと、学校教育全般を通して、いじめの未然防止を図るとともに、アンケート調査などにより組織的に実態把握に努めることが学校や教員の責務であるとしており、いじめなどへの対応も含めた総合的な観点から教員や学校の評価を行っている。

## 未来民主ちば



### 大学との共創のまちづくりを

**問** 昨今、国では「地方創生」の取り組みなどとも連動して、大学制度を変えていこうという動きもある中、大学とともに共創してまちづくりを進めていくことが重要だと考えるが、市のこれまでの取り組みと今後の方向性は。

**答** これまで、市内の大学、短期大学の学長と市長による「千葉市・大学連絡会議」を開催し、広く意見交換などを行うとともに、大学との共同研究事業をはじめとして、様々な連携を図ってきた。

大学を取り巻く状況に変化がある中、国の動向を注視し、本市の「まち・ひと・しごと創生」をはじめとする取り組みと合わせ、市内に数多く所在する貴重な人的・知的財産である大学・短期大学を、ともにまちづくりを担うパートナーとしてとらえ、一層、連携を深化させていく。

### 住民情報系システム<sup>※1</sup>の再構築は

**問** 住民情報系システム刷新計画に基づき、多くのシステムが30年ぶりに再構築されるとのことだが、その

目的と基本方針、事業の進捗状況と効果は。

**答** 財政負担の少ないシステムへの転換と市民サービスの向上を目的とし、オープンで標準的なシステムへの移行、簡素で効率的なシステムの導入、拡張性と柔軟性を兼ね備えたシステムの構築を基本方針とする。平成26年度に共通基盤と介護保険、28年1月に税務、29年1月に福祉、住民記録、国民健康保険の運用開始を目指しており、計画通りに進んでいる。

効果としては、年間約4億円の運用費の削減が見込まれ、今後は拡張性を備えたシステムを構築することにより、新たな制度などへの柔軟な対応や、高度な市民サービスの提供が可能となる。

### 次期一般廃棄物(ごみ)処理基本計画は

**問** 平成19年度に焼却ごみ1/3削減をスローガンに掲げ、5年間で6万5千トン以上を削減、削減ペースが頭打ちとなった26年2月には家庭ごみ手数料徴収制度を導入し目標であった1/3削減を達成した。今後29年3月末の北谷津清掃工場停止後の3用地2清掃工場運用体制の確立に

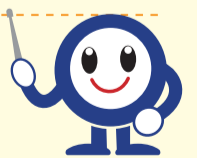
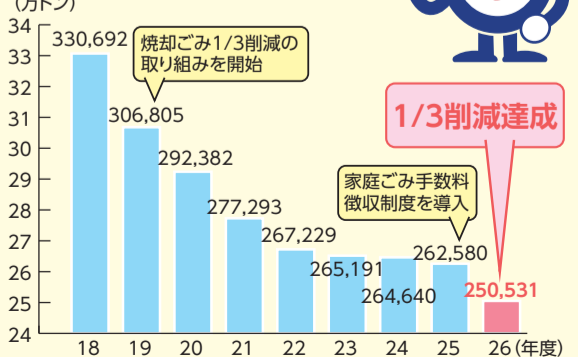
向け、さらなる焼却ごみ量の削減が求められるが、長期的・総合的視点からの今後のスケジュールを伺う。

**答** 平成27年2月に次期計画の検討を開始し、6月に千葉市廃棄物減量等推進審議会に諮問を行い、現在のごみ処理の現状把握と課題調査、現行計画の点検・評価の審議を行っている。

今後、28年3月頃に次期計画の骨子案をとりまとめ、5月頃に審議会からの答申を受け、計画案を策定する。

その後、計画案に市民の意見を反映するため、28年10月頃にパブリックコメントを実施し、29年3月に次期計画を決定する予定となっている。

焼却ごみ量(万トン) 焼却ごみ量の推移



公明党千葉市議会議員団



千葉公園スポーツ施設の再整備は

**問** スポーツ施設の再整備に向けた基礎調査の結果と、再整備に向けての取り組み状況・今後のスケジュールは。また、老朽化対策が急務である千葉公園体育館を先行して建て替えることは検討しているのか。



老朽化した千葉公園体育館

**答** 調査にあたっては、体育館・プール・武道館などを集約、再整備し、機能や規模、整備場所や多様化している利用者のニーズに対応することを基本とする。市民総体や中学総体の開催に十分対応できる、市トップレベルの施設となるよう体育館のメインアリーナ、観客席に加え、サブア

リーナの配置などを行っていく。具体的なスケジュールは、現段階では決定していない。

また、千葉公園体育館は老朽化し、安全な市民利用に課題があることなど早期整備の必要性を十分認識しており、新体育館を先行して整備することも含め検討を鋭意行っていく。

平成26年度決算の成果・評価は

**問** 決算をどのようにとらえ、市が未来に向け発展していくための分野に予算を重点的に配分した事業の成果をどのように把握・評価しているか。また、主要債務総額の削減に関する取り組みの具体的な成果とその評価は。

**答** 平成26年度決算では、財政健全化について連結実質赤字比率<sup>\*2</sup>が6年ぶりに解消し、将来負担に関する指標も低減するなど、徐々に効果が表れている。

主な事業では2年連続での「待機児童ゼロ」の達成、子ども医療費助成の中学3年生までの拡大、都市アイデンティティの確立に向けた基礎調査や海辺のグランドデザイン策定を推進するなど、各事業で見込んだ成果を概ねあげることができたと考えている。

また、26年度末の主要債務総額は、24年

度と比較して495億円減の5,767億円となり、目標達成に向け着実に進んでおり、引き続き債務の削減に努めていきたい。

教育現場におけるICT活用は

**問** 学校教育でのタブレット端末導入の評価と課題、教育のICT化に向けた環境整備の見解は。

**答** 平成26年度よりモデル校でタブレット端末を活用した学習のあり方の研究を進め、その教育的効果の継続した検証に取り組んでいる。導入により、児童の理解、集中力や関心、学習意欲の高まり、能動的な取り組みが向上するなどの成果が報告されており、一定の効果があるものと評価している。一方、教職員研修の推進、幅広く教育の効果検証をする必要性、環境整備が課題となっている。

また、学校の据置型の端末を、タブレット端末を含めた移動可能な機種にする検討をするとともに、ICT教育のさらなる向上にむけた教職員の資質の向上、ネットワーク回線の増強、情報教育支援員の増員が必要と考えている。さらに、オンライン学習の環境を整えるなど、教育のICT化に向けた環境整備の充実に努めていく。

日本共産党千葉市議会議員団



指定廃棄物最終処分場の候補地選定の白紙撤回を

**問** 指定廃棄物最終処分場の候補地選定に関し、7月20日の市民説明会では、市民が白紙撤回を求めていることが明らかになったが、その声をどう受け止めるのか。環境省は東京電力千葉火力発電所の敷地ありきで説明を行ってきており、市民の理解も納得も得られない内容だが、市長として候補地選定に反対の姿勢を示すべきではないか。

**答** 市民説明会では、選定経緯・安全性に対する疑問や懸念の声が多く出ており、市民の率直な意見であると受け止めている。国において、本市からの再協議の申し入れに対する検討が行われていると聞いているので、説明会での市民の意見などもしっかり受け止め、回答することを求めている。

市は6月10日、国に指定廃棄物排出自治体内で保管を行うための再協議の申し入れを行っている。国から申し入れに対する回答があった場合は、議会と相談しながら、市民の安全性を第一に判断していく。



指定廃棄物最終処分場の詳細調査の候補地

子ども医療費助成制度の拡充を

**問** いくつかの県内の市や町では、子ども医療費助成制度の助成対象年齢を通院、入院ともに高校3年生まで拡充しているが、本市でも対象年齢を高校3年生まで拡充すべきでは。

**答** 近隣市や県内主要都市では、通院医療費の助成対象を中学校3年生までとするところが多く、人口減少時代にあたり、本市の持続可能な都市経営を進めていく必要性を考慮し、厳しい財政状況であるが、平成26年8月診療分から、通院医療費の助成対象を中学校3年生まで拡大した。

対象拡大は、子どもの健康保持の推進、子育て世帯の経済負担の軽減、子育て世帯の本

市への転入を促進する観点からも有効な施策の一つであると考えているが、助成対象の拡大には多額の安定的財源の確保が必要であり、今後は国や県の動向を注視しつつ、本市の将来的な財政見直しや制度の安定的な運営を考慮し、慎重な検討が必要であると考えている。

安全保障関連法案に関する市長の見解は

**問** 安全保障関連法案が国会で議論されており、8月30日に国会前と周辺で大規模な抗議行動があった。憲法擁護義務のある自治体の長として、違憲立法である「戦争法案」に反対の立場を示すべきでは。また、同法案を廃案にすることこそ必要であり、若者を戦闘地域に送ることがあってはならないと考えるが、市長の見解は。

**答** これまでの国会審議を注視するとともに、世論や市民の意見などにも触れてきたところであるが、いまだ国民の理解は広がっていないものと認識している。

安全保障関連法案は、戦後の日本の歩みを大きく転換する可能性がある法案であることから、国会での拙速な採決には賛成しかねる。

用語解説

- ※1 住民情報系システム：介護保険、税務、福祉、住民記録、国民健康保険の基幹5業務のデータを管理するシステム
- ※2 連結実質赤字比率：病院や下水道などの公営企業を含む市の全会計に生じている赤字の大きさを財政規模で割り、その割合を表したもの

### 可決した主な議案

※各会派の賛否状況は  
8面に掲載しています。

#### 補正予算 一般会計に2億300万円を追加

補正予算の主なものは次のとおりです。

- 東日本大震災により被害を受けた住宅の地盤復旧などに要する費用の助成 1億1,400万円
- 平成27年9月6日の強風により被災した世帯の住宅再建支援のための事業費 975万円

#### 個人情報保護に関する条例を整備

マイナンバー法が制定されたことに伴い、特定個人情報保護のため、外部への提供などをこの法律と同等に制限するなど、必要な措置を規定するほか、再委託を受けた業者などに市職員と同等の取り扱いを義務付け、個人情報の適正な取扱いを確保します。

#### 軽自動車税のグリーン化特例を導入

地方税法などの一部改正に伴い、市税条例などを一部改正し、軽自動車税のグリーン化特例(平成28年度分のみ)を導入します。

主な改正内容

(1台当たり)

| 区分   | 改正前              |                   | 改正後           |                    |                |        |        |
|------|------------------|-------------------|---------------|--------------------|----------------|--------|--------|
|      | ～H27.3.31<br>取得分 | H27.4.1～<br>新規取得分 | H27.4.1～新規取得分 |                    |                |        |        |
|      |                  |                   | 電気自動車等        | H32燃費基準<br>+20%達成車 | H32燃費基準<br>達成車 |        |        |
| 軽乗用車 | 四輪車              | 営業用               | 5,500円        | 6,900円             | 1,800円         | 3,500円 | 5,200円 |
|      |                  | 自家用               | 7,200円        | 10,800円            | 2,700円         | 5,400円 | 8,100円 |
|      | 三輪車              | 3,100円            | 3,900円        | 1,000円             | 2,000円         | 3,000円 |        |

#### 旧高浜第二小学校跡施設を複合施設として活用

学校の統合により跡施設となった旧高浜第二小学校の校舎を改修し、療育センターの一部、障害福祉サービス事業所、千葉大学サテライトキャンパスを入れた複合施設として活用します。

### 常任委員会審査から

9月10日の常任委員会では、決算議案以外の議案や請願を、所管の常任委員会で、細部にわたり審査しました。主な質疑をご紹介します。

#### 総務委員会(議案5件)

##### マイナンバーに関する 情報漏えい対策は

**問** 今後導入するマイナンバー制度において、情報漏えいに対する市の取り組みは。

**答** マイナンバーに関する個人情報は、1か所ではなく行政機関ごとに分散管理し、番号事務を担当する特定の職員だけがアクセスできることとする。また、市民からも個人情



個人番号カードイメージ

報のやりとりの記録が照会できるシステムを取り入れていく。制度導入を機に、情報漏えいしない仕組み、体制づくりの検討を進めていく。

#### 保健消防委員会(議案7件、発議1件)

##### デイサービスセンターを廃止する いきいきプラザの今後は

**問** 現在指定管理をしている、いきいきプラザのデイサービスセンターを廃止することで、施設のサービス低下を招くことはないか。

**答** 当施設は、介護状態の重い方も多く利用しており、採算を考えると民間で引き受けにくい面があるため、引き続き社会福祉事業団が運営していく。市として今後も事業団へ協力や指導を行っていく。

#### 環境経済委員会(議案3件、請願1件)

##### 埋め立てにより新たに生じた 土地の活用は

**問** 千葉県が実施した港湾の埋め立てにより、新たに10,436.45㎡が市の土地になるとのことだが、その活用は。

**答** 新たに生じたこの土地は、中央区中央港1丁目に編入し、今後建設される旅客船さん橋の埠頭用地や港湾緑地として活用していく予定である。

#### 都市建設委員会(議案4件)

##### 福島県内からの避難者への支援は

**問** 福島県内の避難指示区域内に居住していた避難者を市営住宅の入居資格を有するものとしているが、その世帯数と期間、家賃負担は。

**答** 9月5日現在の世帯数は24世帯、仮設住宅として賃貸住宅に入居できる期間は、平成29年3月31日までで家賃は無料。その後、福島県へ帰還するか市内にとどまるか本人の選択となるが、希望者は市営住宅への応募が可能である。

#### 教育未来委員会(議案3件、請願1件)

##### 旧磯辺第二中学校の跡地活用は

**問** 学校の統合により、跡施設になっている旧磯辺第二中学校の活用方法は。

**答** グラウンドは拡幅し、体育館は改修してスポーツ施設として活用するとともに、敷地の一部を利用者の駐車場として活用していくほか、高齢者施設として、認知症グループホームや小規模多機能型居宅介護事業所などを公募していく。

### 市政のここが聞きたい

### 一般質問

27人の議員が、市政に関する一般質問を行いました。主な質問項目は次のとおりです。

内容は市議会ホームページの議会中継(録画放映)をご覧ください。

( )内は氏名と会派名 ※通告順

- 花立踏切について (櫻井 崇 無所属の会)
- 犬猫殺処分ゼロに向けての取り組みについて (亀井 琢磨 未来民主ちば)
- 高齢者・障害者の安全で安心の生活のために (三瓶 輝枝 未来民主ちば)
- 18歳選挙権について (桜井 秀夫 公明党)
- 平和行政及び自衛隊とのかかわりについて (吉田 直義 日本共産党)
- 小中学校へのエアコン設置について (梶澤 洋平 日本共産党)
- 若葉区の残土対策について (青山 雅紀 公明党)
- 指定廃棄物の長期管理施設について (福永 洋 日本共産党)
- 千葉市地方卸売市場について (川村 博章 自由民主党)
- 航空機騒音問題について (松坂 吉則 自由民主党)
- 行政改革と市民参画について (森山 和博 公明党)
- 地域における子どもたちの見守りに関して (蛭田 浩文 未来民主ちば)
- 緑区の道路整備について (石井 茂隆 自由民主党)
- 里親について (三井 美和香 未来民主ちば)
- マイナンバー制度について (麻生 紀雄 未来民主ちば)
- 高原千葉村について (植草 毅 自由民主党)
- 保育の質の確保について (渡辺 忍 市民ネット)
- 子ども・若者総合相談センターについて (伊藤 康平 公明党)
- 海辺の一体的な活用について (田畑 直子 未来民主ちば)
- 病院行政について (米持 克彦 自由民主党)
- 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした市民が主体の国際交流について (松井 佳代子 市民ネット)
- 県費負担教職員の給与等の権限移譲について (川合 隆史 未来民主ちば)
- 生活保護について (盛田 真弓 日本共産党)
- 清掃工場の整備計画について (野本 信正 日本共産党)
- 都市計画道路磯辺茂呂町線について (阿部 智 無所属の会)
- 地方創生について (山本 直史 未来民主ちば)
- 小規模校のあり方について (小川 智之 自由民主党)



# 市政に活かす!

## ～常任委員会視察から～

各常任委員会では、所管する行政分野ごとに本市の課題に対し専門的に審査や調査を行うために、他市の先進的な取り組みなどを視察しています。他市から学んだことや本市の行政に活かしたいことについて、一部ご紹介します。

### 環境経済委員会

7/14～16  
氷見市、金沢市、新潟市



氷見市役所にて

### 市民主体の地方創生を考える

氷見市役所には「地方創生と自治への未来対話推進課」という部署があります。市民同士が「対話」を通じて多様な価値観と出会い、まちづくりについて主体的に考え行動することで地方創生につなげて行く先進的な取り組みが始まっており、非常に参考になりました。

### 総務委員会

8/24～26  
岡山市、愛媛県、松山市



岡山市議会にて

### 総合的な都市ブランド戦略を

松山市は激化する地域間競争への対応として将来にわたり資金や人材、物や情報が流入し持続発展する総合的な対策を講じるため、都市ブランド戦略ビジョンを作成しております。首都圏における本市の都市イメージを明確化する上で参考になりました。

### 教育未来委員会

7/15～17  
京都市、名古屋市、静岡市



名古屋市会にて

### 小中学校へのエアコン設置のあり方を考える

名古屋市科学館の現地視察をしたのち、なごや子ども応援委員会について説明を受けました。また、小中学校へのエアコンの設置についても説明を受け、本市のエアコン設置のあり方を検討する上で、とても参考になりました。

### 保健消防委員会

7/21～23  
新潟市、富山市



新潟市救急ステーションにて

### 救急ステーションの機能強化を

本市において青葉病院の救急棟を平成27年中に供用開始し、救急機能を強化することが計画されていることから、新潟市救急ステーションの現地視察を行い、救急ステーションでの先進的な取り組みおよびドクターカー導入の経緯などについて学びました。

### 都市建設委員会

7/13～15  
北九州市、長崎市



北九州モノレール高架下にて

### モノレールの安全性確保と維持管理を学ぶ

モノレールの安全性と信頼性を確保する上で、各施設の老朽化への対応は、本市と北九州市にとって共通の課題です。予防保全型の取り組みにより、維持管理コストをできる限り縮小することが必要なほか、利用者増加策など収入面における施策の重要性を再認識しました。

# 決算審査特別委員会

委員長 小川 智之  
副委員長 山本 直史

## 平成26年度一般会計の前年度からの増減

前年度からの増減 ( )内は主な増減の内容

- 歳入**
- 市税…………… 28億7,500万円増 1.7%↑  
(家屋の新増築等による固定資産税の増、企業収益の改善による法人市民税の増)
  - 使用料・手数料…………… 7億6,600万円増 9.6%↑  
(指定ごみ袋の販売月数の増による家庭ごみ処理手数料の増)
  - 繰入金…………… 13億 500万円増 44.3%↑  
(財政調整基金からの繰入金による増)
  - 財産収入…………… 16億 900万円増 90.2%↑  
(土地売却収入の増)

- 歳出**
- 民生費…………… 86億6,000万円増 6.7%↑  
(臨時福祉給付金支給事業費の増、子育て世帯臨時特例給付金支給事業費の増)
  - 土木費…………… 31億4,700万円増 7.5%↑  
(東日本大震災復興交付金基金積立金の増、事業の進捗に伴う宮野木町第1団地第二期建替事業費の増)
  - 衛生費…………… 34億7,100万円増 12.9%↑  
(病院事業への出資金の増、リサイクル等推進基金への積立金の増)
  - 総務費…………… 9億7,000万円減 3.1%↓  
(退職手当支給月数の見直しによる減)

## 分科会での主な質疑をご紹介します。

### 総務分科会

(所管) 総務局・総合政策局・財政局・会計室・選挙管理委員会・人事委員会・監査委員・議会

#### 歳入確保の取り組みは

**問** 厳しい財政状況が見込まれているが、市税などの歳入確保へむけた取り組みは。

**答** 市税納付については利便性向上のため、平成28年度よりクレジット納付の導入を予定している。また、「ふるさと応援寄附金」として、一定額以上の寄附者の方に、公共施設のバックヤード見学や花火大会観覧チケットなどのお礼をし、受け入れの拡大を図っている。



千葉市動物公園バックヤード見学実施中

#### いち早く災害情報を伝える取り組みは

**問** 防災対策として、防災行政無線のほかに市民に災害情報を伝える手段は。

**答** ちばし安全・安心メールやツイッターなど、さまざまなツールで情報を一括して配信するシステムを整えたほか、4月から県の防災システムに災害情報を流し、テレビやラジオなどで市の情報を確認できるシステムを運用している。

#### 都市アイデンティティの確立は

**問** 都市アイデンティティの確立に向けた取り組みは。

**答** 都市アイデンティティ確立に向けて、本市ならではの魅力や独自性を活かして、市民の誇りや愛着を醸成し、「千葉らしさ」を定着させるため、本市の歴史やルーツに根差した「千葉氏」「加曽利貝塚」「オオガハス」「海辺」の4つの地域資源を活用して、一貫性をもって市内外へアピールしていく。

### 保健消防分科会

(所管) 保健福祉局・消防局・病院局

#### 民生委員の負担軽減と担い手不足解消は

**問** 民生委員の負担の大きさや担い手不足に対する取り組みは。

**答** 民生委員の支援の対象は、時代の経過により生活困窮者から高齢者や児童に変化しており、特に高齢者への支援が大きくなっている。昨年度より民生委員協力員制度を創設し、協力員が配置された民生委員からは、負担が軽減されたという報告があり、今後も制度の周知などを図っていきたい。

#### 救急・消防需要に対する取り組みは

**問** 救急業務にタブレットを活用した救急搬送情報をリアルタイムで共有できるシステムを取り入れた成果は。

**答** タブレットを取り入れたことにより、中等症以上の方は現場到着から病院到着までの時間を1.8分短縮できたが、全体としては短縮時間は0.4分となっており、さらなる時間の短縮が喫緊の課題となっている。



タブレットで救急情報を入力する隊員

### 環境経済分科会

(所管) 市民局・環境局・経済農政局・農業委員会

#### ちばレポへの参加者を増やすための取り組みは

**問** 地域課題解決ソリューション(ちばレポ)の運営にあたっては、平成25年第4回定例会の附帯決議※において、財政負担の軽減へ取り組むほか、多くの市民や多様な主体が参加できるよう申し入れたが、その取り組みは。

**答** 当面の参加目標を3年後で約5,000人とし、現時点で目標の約6割の参加人数となっており、これまで比較的市政に関与することがなかった層の方々が参加している。また、現在市内企業12者と連携協定を結ぶなど、多様な主体が参加している。



ちばレポの操作画面

※附帯決議：可決した議案に対して、議会の意思を表明するものとして行う決議。法的な拘束力はないが、市はこれを尊重することが求められる。

#### 市内経済の振興は

**問** 市内経済の振興に向けた取り組みは。

**答** 個々の事業者からの相談内容をいかに実現させるか、商店街や商店の前向きな気持ちを支援していくかが課題となっている。さらに、今後は地域内の大学との連携、中央港の旅客船さん橋のPR、幕張新都心の魅力向上など、より一層の活性化に努めていきたい。

### 教育未来分科会

(所管) こども未来局・教育委員会

#### ひとり親家庭への支援は

**問** 子育て中のひとり親家庭に対する支援とその周知方法は。

**答** ひとり親家庭を対象に就業相談や経済的な支援などを行っており、市政だよりやホームページへの掲載のほか、区役所の窓口では、その家庭に合った支援を総合的に案内できるような体制を取っている。また、昼間に窓口に来られない方にも配慮し、平日の夜や休日にも電話相談を行っている。



窓口での相談風景

#### いじめに関する対策は

**問** 市のいじめに関する対応と現場の教職員へのメンタルヘルスは。

**答** 「いじめ等の対策及び調査委員会」を設け、いじめ防止基本方針の審議などを行っている。また、現場の教職員のメンタルヘルスの取り組みとしては、「教職員ヘルシーシステム」として、カウンセラーなどによるメンタルヘルス研修や巡回訪問などに取り組んでいる。

### 都市建設分科会

(所管) 都市局・建設局・水道局

#### JR京葉線とりんかい線の直通運転の促進は

**問** JR京葉線とりんかい線の直通運転に向けけた取り組みは。

**答** 調査結果から、新木場駅での乗り換えにおいて、朝夕の混雑などが課題となっていることがわかった。直通運転を実現させることで、乗り換えの乗客が減ることによる新木場駅の混雑解消や利便性の向上が期待できるが、りんかい線の運賃がJRよりも高いことも課題となっていることから、料金値下げも含めて鉄道事業者と協議を行っていきたい。

#### 道路の補修に関する対応は

**問** ちばレポの登録者増により、道路の修繕などの様々な要望が増加したと思われるが、その状況は。また、予算、人員の十分な確保は。

**答** 平成26年9月よりちばレポを開始し、26年度は半年で道路に関する要望が716件あり、7月末現在で9割が対処済みとなっている。道路の維持補修などは市民の安心・安全を守るためにも、十分な予算や人員を確保していきたい。



道路補修作業の様子



平成26年度一般会計および特別会計決算議案など20件を審査するため、9月15日に全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、計6日間にわたり審査しました。また10月1日に議長から市長に対して、指摘要望事項を提出しました。

## 市長に提出した指摘要望事項

5つの分科会審査の結果、まとめられた11項目の指摘要望事項を市長に提出し、市政運営に反映させるとともに、反映状況の報告を求めました。

**① 財政運営** については、今後も公債費の高どまりや扶助費の増加など厳しい財政状況が見込まれることから、市税等の徴収率向上を初めとした歳入確保策に努めるとともに、施策の選択及び重点化により財政健全化に取り組まれない。

**② 防災対策** については、大規模自然災害の発生に備え、災害時に気象情報や避難勧告・指示などの災害関連情報を迅速かつ確実に提供できるよう情報伝達手段の拡充と活用方法の事前周知に努め、市民の安全・安心の確保を図りたい。

**③ 都市アイデンティティの確立** については、市民理解を得るための慎重な検討が必要であることから、固有の地域資源にとらわれず、本市の魅力や特徴に関する多様な市民意見を反映させ、郷土愛の醸成と都市ブランド力の向上に意を用いたい。

**④ 民生委員** については、高齢社会の進展に伴う地域包括ケアシステムの構築を見据えると、地域福祉における民生委員が果たす役割はますます重要となってくることから、地域の見守り活動等の地域福祉増進のため、民生委員協力員制度を活用するなど、引き続き民生委員の負担軽減となり手不足解消に努められたい。

**⑤ 救急体制整備** については、情報共有端末装置の導入が救急搬送時間短縮に寄与しているものの、救急需要の増加傾向を踏まえると、より一層の時間短縮が課題となることから、時間短縮に資する施策を検討し、さらなる救命率向上に努められたい。

また、複雑多様化する消防需要に対応するため、女性特有の視点も肝要となることから、女性消防職員の登用を推進するとともに、働きやすい職場環境の充実に意を用いたい。

**⑥ 地域課題解決ソリューション運営管理** については、本件に係る附帯決議を踏まえ、本市の厳しい財政状況のもと、事業の効果がより高まるよう取組内容を精査するとともに、特に市民協働の担い手となる、ちばレポ参加者の増は急務であることから、多様な主体や多く

の市民を参加につなげる施策展開に一層力を注ぎ、地域課題を市民協働で解決できる取り組みとなるよう意を用いたい。

**⑦ 市内経済の振興** については、本市の産業政策の方向性を示す経済成長アクションプランを基調とし、産学官がより連携することによりプランを着実に推進する環境を整備するとともに、本市経済にとって重要なエリアである千葉港や幕張新都心の持つ強みを生かした施策を展開するなど、中央公園周辺地区の活性化も含め、関係部局と緊密に連携し、より一層の経済活性化が図れるよう取り組まれない。

**⑧ ひとり親家庭への支援** については、さまざまな制度が整備されているが、必ずしも対象者にその情報が伝わっていない状況が見受けられることから、必要な世帯が必要な支援を受け、社会的、経済的な自立につながるよう、周知・相談体制のさらなる充実を図られたい。

**⑨ 小中学校** においては、いじめ、不登校や発達障害等、さまざまな支援を必要とする児童生徒が増加していることから、ニーズに応じた支援を十分に行えるよう、職員体制の充実を図るとともに、職員のメンタルヘルスについても配慮されたい。

**⑩ 交通政策** については、京葉線とりんかい線の直通運転を初め、交通結節点における諸課題の改善に継続して取り組むとともに、バスロケーションシステムの効果的かつ計画的な導入の拡大により、利便性向上に努められたい。

また、多様な利用者が想定される鉄道駅等については、引き続き関係事業者への働きかけや必要な支援を行い、バリアフリー化や多機能トイレの整備促進に意を用いたい。

**⑪ 各土木事務所** については、道路の劣化修繕や災害時対応のほか、ちばレポの開始を踏まえ、多くの市民要望に適切に応える必要があることから、十分な予算、人員を確保するとともに、多様なニーズに迅速に対応し得る技術職の育成を行い、市民生活における安全・安心の確保に努められたい。

## 意見表明

10月1日の決算審査特別委員会では、5分科会の審査概要について報告が行われた後、6人の委員が会派を代表して意見表明を行い、採決の結果、各会計決算を原案どおり可決・認定しました。各会派の意見表明の概要は次のとおりです。(通告順に掲載)

- ※1 実質公債費比率：1年間の収入に対するその年に払った借金返済額の割合
- ※2 将来負担比率：1年間の収入に対する将来市が負担する借金の割合

### 公明党千葉市議会議員団

#### 財政健全化に向けた着実な成果を評価

財政健全化に向け、連結実質赤字比率の解消や主要債務総額の削減など、取り組みの成果は徐々に表れてきております。また、将来に渡る本市の魅力向上に向けた取り組みのほか、子ども医療費助成の大幅拡充をはじめとする市民福祉の向上、プレミアム付商品券発行事業の実施、道路及び庁舎のLED照明の普及拡大、学校施設の耐震補強の概ねの完了などの点を評価し、認定致します。

### 市民ネットワーク

#### 着実な財源確保と個別の各事業を評価し認定

自主財源は前年度と比較して確実に確保されていることや、市民参画・次世代につながる施策・男女共同参画の観点から市民シンクタンク新規モデル事業、生活困窮者学習支援資金事業などの各事業を評価します。ただし、今後も扶助費の増加など厳しい財政が続くことから、引き続き目標を達成できるよう歳入の確保と歳出の削減に向けた着実な取り組みと事業の拡充を図るよう要望します。

### 日本共産党千葉市議会議員団

#### 住民福祉の増進をせず、大型開発を進めた決算は不認定

2014年度決算は、国の暴走政治への防波堤としての役割を果たせず、見直しと称して公共料金の値上げや福祉カットなどの市民負担を強いる一方で、財政危機の下、市庁舎整備などを急ぎ、大型開発には多額の事業費をつぎ込んでおり、認めることはできません。厳しい財政状況が続くことから、大型開発からの転換、福祉の増進、税収も向上する循環型経済への転換を強く求めます。

### 千葉市議会無所属の会

#### 実質収支の確保、財政健全化への取り組みを評価

一般会計で実質収支を確保し、基金からの借入残高が初めて減少に転じた点を評価しますが、実質公債費比率<sup>※1</sup>、将来負担比率<sup>※2</sup>においては依然として政令市中ワーストであり、さらなる取り組みが必要です。財政健全化を着実に推進しつつ、各種施策については、真に必要な分野への重点が図られているものの、健全化判断比率については、より一層の行政改革、財政健全化に努めていただくよう求めます。

### 未来民主ちば

#### 財政健全化へ向けた取り組みの効果が着実に表れており認定

一般会計で昨年度を上回る黒字が確保されたほか、連結実質赤字比率が解消されるなど、財政健全化への取り組みの効果は着実に表れていると考えます。高齢者施策や障がいのある方々への施策などの各施策も評価します。この豊かな千葉市を将来の世代に引き継ぐためにも、各種事業の効果を的確に検証するとともに、本市の発展や市民生活の向上に真に必要な事業を見極める最大の努力を求めます。

### 自由民主党千葉市議会議員団

#### 厳しい財政状況だが、財政健全化に向けて一定の成果が見られ認定

第2期財政健全化プランに掲げる数値目標について、市税徴収率の向上など、財政健全化に向けて一定の成果があったと考えます。高齢者施策や子育て施策をはじめ、各種施策の実施について一定の評価をします。今後も、経済活性化や人口増加に寄与する施策を一層推進し、税収の確保を図るとともに、引き続き行政改革に取り組むなど、財政健全化に向けた施策を積極的に進めるよう要望します。

| 議案の議決結果・会派別賛否状況 |  | 議決結果 | 会派名   |        |     |       |       |       |
|-----------------|--|------|-------|--------|-----|-------|-------|-------|
|                 |  |      | 自由民主党 | 未来民主ちば | 公明党 | 日本共産党 | 市民ネット | 無所属の会 |
| 補正予算案           | 平成27年度一般会計補正予算(第2号) /平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算/平成27年度介護保険事業特別会計補正予算/平成27年度一般会計補正予算(第3号)   | 原案可決 | ○     | ○      | ○   | ○     | ○     | ○     |
| 条例案             | 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定/個人情報保護条例の一部改正/市税条例等の一部改正/老人福祉センター及び老人デイサービスセンター設置管理条例の一部改正                                 | 原案可決 | ○     | ○      | ○   | ×     | ○     | ○     |
|                 | 職員の再任用に関する条例及び職員退職手当支給条例の一部改正/火災予防条例の一部改正/特定非営利活動促進法施行条例の一部改正/市営住宅条例の一部改正/建築関係手数料条例の一部改正   | 原案可決 | ○     | ○      | ○   | ○     | ○     | ○     |
| その他議案           | 新たに生じた土地の確認/町の区域の変更/工事請負契約(旧磯辺第一小学校解体工事)   | 原案可決 | ○     | ○      | ○   | ×     | ○     | ○     |
|                 | 工事請負契約(旧高浜第二小学校跡施設校舎大規模改造工事/消防局・中央消防署空調設備改修工事/旧磯辺第二中学校解体工事)/市道路線の認定及び廃止/議決事件の一部変更(こてはし学校給食センターPFI特定事業に係る特定事業契約)                                  | 原案可決 | ○     | ○      | ○   | ○     | ○     | ○     |
|                 | 監査委員の選任/人権擁護委員の推薦  | 原案同意 | ○     | ○      | ○   | ○     | ○     | ○     |
| 議出議員提案          | 心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部改正  | 原案否決 | ×     | ×      | ×   | ○     | ×     | ×     |
|                 | 地方創生に係る新型交付金等の財源確保等を求める意見書   | 原案可決 | ○     | ○      | ○   | ×     | ○     | ○     |
| 決算(関連)議案        | 平成26年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分/平成26年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分   | 原案可決 | ○     | ○      | ○   | ○     | ○     | ○     |
|                 | 平成26年度歳入歳出決算(一般会計/国民健康保険事業特別会計/霊園事業特別会計/農業集落排水事業特別会計/競輪事業特別会計/地方卸売市場事業特別会計/市街地再開発事業特別会計/学校給食センター事業特別会計/公債管理特別会計/平成26年度決算(病院事業会計/下水道事業会計/水道事業会計)) | 原案認定 | ○     | ○      | ○   | ×     | ○     | ○     |
|                 | 平成26年度歳入歳出決算(介護保険事業特別会計/後期高齢者医療事業特別会計/母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計/都市計画土地区画整理事業特別会計/動物公園事業特別会計/公共用地取得事業特別会計)   | 原案認定 | ○     | ○      | ○   | ○     | ○     | ○     |

### 可決した意見書

議員提出議案として1件の意見書を審議し、可決しました。可決した意見書は、国会や関係行政機関に提出しました。  
市議会ホームページの「議会日程・結果」の「可決された意見書・決議」に全文を掲載しています。

- 地方創生に係る新型交付金等の財源確保等を求める意見書

### 請願の結果

- 小中学校の普通教室にエアコンの設置、老朽校舎・トイレ改修を求める請願(不採択)
- 放射性物質を含む指定廃棄物処分場の選定の撤回を求める請願(不採択)

### 知ってる? 市議会レポート report

## 議会改革協議会

### ～議会改革ってどんなこと?～

皆さんは議会改革と聞いて、どんなことを思い浮かべられるでしょうか?  
千葉市議会では、これまでに議会改革の根幹となる議会の基本理念の決定、質問の際の一問一答方式の導入、大規模災害対応指針の策定、議員の定数削減などの改革を進めてきました。  
さらに今期は、改革を一層推進するため、平成27年7月に「議会改革協議会」を立ち上げました。千葉市議会の現状をしっかりと評価したうえで、議会のあるべき姿と課題を協議・検討していきます。



9月3日に開催した全議員対象の勉強会

### 市議会を傍聴してみませんか

本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会 は原則公開していますので、どなたでも傍聴できます。議会棟は市役所本庁舎の隣(国道側)です。受付は、原則として会議開催の30分前から議会棟1階の傍聴受付カウンターで行います。定員は本会議92人(先着順)、各委員会6～10人(受付開始時点で定員を超えている場合は抽選)です。

● 第4回定例会は 11月27日(金)開会予定です。

なお、会議日程は11月24日(火)に決まる予定です。

### 点字版と音声版もご利用ください

目の不自由な方に、市議会の活動をお知らせするため、「ちば市議会だより」の点字版と音声版を作成していますので、ご希望の方はご連絡ください。  
また、音声版は、カセットテープ版と、目次から読みたい記事を検索して再生できるデジタイズ版のどちらかを選べます。

### 議員等による寄附の禁止について

公職選挙法では、議員による、選挙区内での町内会行事などへの寄附が禁止されています。また、一般の人が議員に寄附を求めたり勧誘したりすることも禁止されていますので、ご理解とご協力をお願いします。

### 編集にあたって

今定例会では、平成26年度決算について、市民の皆様が納めた税金が適切に使われ、その効果が十分であるかを詳細に審査し、認定いたしました。  
今後も市民の皆様が議会活動がしっかり伝わる充実した紙面づくりに努めてまいります。

### 千葉市議会広報委員会

委員長：松坂 吉則 副委員長：麻生 紀雄  
委員：植草 毅/山本 直史/酒井 伸二  
盛田 眞弓/渡辺 忍/阿部 智

問い合わせ  
議会事務局調査課 ☎043(245)5472